

秋のお彼岸

◆お彼岸とは…

「彼岸」というのは悟りの世界のことをいい、この現世である「此岸(しがん)」に対する言葉です。つまり迷いや苦しみの世界から悟りの世界へと導いてくれる教えである「六波羅蜜(ろくはらみつ)」の修行をすることで「悟りの世界」、すなわち「彼岸」の境地へ到達することができるというものです。

仏教には、「西方浄土」といって西に極楽があるという考えがあります。太陽が真東から上がって真西に沈み、昼と夜の長さが同じになる春分の日と秋分の日を挟んだ計7日間を「彼岸」と呼び、この期間に仏様の供養をする事で極楽浄土に行くことができると考えられていたのです。

今年は9月23日が秋分の日(中日)ですので、**9月20日(彼岸入り)～26日(彼岸明け)**がお彼岸の期間にあたります。

◇お彼岸の迎え方

次にお彼岸を迎える準備としまして…

- ・お仏壇、仏具の清掃
- ・お墓の掃除
- ・供花やお供え物の準備

を行います。

そして、お墓参りは家族みんなで行きましょう。

お墓は家族全員でお守りしていくべきものです。

両親がご先祖様を祀る姿は後の世代に受け継がれていくことでしょう。

くまめ知識く

「ぼたもち」と「おはぎ」の違いを知っていますか？

実はどちらも、もち米とあんこで作った同じものなのです。「ぼたもち」は春のお彼岸の

お供えするものを季節の花「**ぼたん**」に

あわせたもので、一方「おはぎ」は秋の

お彼岸の頃に咲く花「**はぎ**」に由来して

名前がつけられたそうです。

